

平成28年度事業計画書

自平成28年4月1日

至平成29年3月31日

(1) 資料の収集拡充

① 図書

従来収集の雑誌及びノンフィクション関係書籍のほかに、新たな雑誌等の拡充をはかる。

② 雑誌記事索引

当財団独自開発運営の雑誌記事索引データベースは、「雑誌記事索引ウェブ検索サービス」として広く国内外で利用され、わが国の社会文化歴史研究に活用されている。本年度も一層の拡充をはかる。

(2) 雑誌記事索引データベースサービスの整備

① 来館記事代行検索プリントサービス

雑誌記事索引データをコンピューターで代行検索し、検索結果を無料印刷し閲覧提供する。

② 記事索引閲覧サービス

来館者が検索端末で当館所蔵誌の雑誌記事索引を自由に検索し、閲覧できる体制を常備する。

③ 記事検索資料ファクシミリ送信サービス

当財団賛助会員に対し雑誌記事索引データベースで必要な記事を検索し記事リストをファクシミリで送信するサービスを行う。

④ 教育機関対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

雑誌記事索引データベースのオンラインサービスは、平成14年7月以来、国内外教育機関に提供しており、一層の普及促進をはかる。

⑤ 賛助会員対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

雑誌記事索引データベースのオンラインサービスは、平成18年4月以来、当財団賛助会員に提供しており、一層の普及促進をはかる。

⑥ 公立図書館対象雑誌記事索引ウェブ検索サービス

雑誌記事索引データベースのオンラインサービスは、平成22年4月以来、国内外公立図書館に提供しており、一層の普及促進をはかる。

(3) 雑誌記事複写サービス

① 来館複写サービス

来館者に対し著作権法の範囲内で所蔵雑誌の記事複写サービスを行う。

② 記事複写資料配送サービス

来館できない利用者に対し著作権法の範囲内で所蔵雑誌の記事複写配送サービスを行う。

③ 記事複写資料ファクシミリ送信サービス

当財団賛助会員に対し所蔵雑誌の記事を複写しファクシミリで送信するサービスを行う。所定の複写権使用料を複写権管理団体に納付する。

(4) 埼玉越生分館の事業

① 大宅壮一関連資料を展示、公開する。原則として1ヶ月に1日開館する。

② 来館者に所蔵書籍データベースを提供、閲覧サービスを行う。

(5) 出版物の刊行

機関紙の刊行

機関紙として「大宅文庫ニュース」を定期刊行し、無料頒布する。

(6) 雑誌記事索引検索システムのシステム改修

平成29年度の5年保守期間満了により、雑誌記事索引検索システム改修のアプリケーション改修を開始する。